



**全建女参加から
奈良まち歩きへ**

蔦井 理恵 (旭川支部)

今回三つの目標を立てました。

1. 全国女性建築士連絡協議会の分科会「エネルギーと暮らし」に参加し、各地の省エネ対策を知る
2. カフェ「くるみの木」に行く
3. 歴史的建築物を訪問する

まずは分科会。意識高い系？な建築士は、そろそろ高気密高断熱住宅のもう一歩先を考えようとしていて、むしろ昭和な暮らし懐古…四季折々の暑さ寒さを味わう生活をもっと大切に、という流れには、少し驚きました。中には高気密高断熱住宅を敵視？しているような方もお見受け。「風や光、熱を機械で作る住まいがいくら省エネであっても、そこに暮らしの楽しさを感じることは出来ません。」と言い切るコメンテーターに「その通り！」と諸手を挙げては言い切れない道民である私。ただし本州でも収入が高い方ほど、住宅には快適性を求めるとのコメントには納得しました。壁が厚く窓の小さい西洋風住宅がたまたま気候に合っていた北海道と他地域とは、取り組み方が違って当たり前なのですけどね。要するに全国統



懇親会にて、せんとくんと

一基準の住宅ではなく、地域性を大切にという風潮が今後ますます強まっていくように感じました。

カフェ「くるみの木」は、もう何年も前から行きたいと思っていました。札幌や東川にあるような、ナチュラルな佇まいにおしゃれな雑貨も扱い、身体にもよさそうな料理を出すようなカフェは、大抵奈良の「くるみの木」からの影響を受けているわけですし、今回やっとその本家本元を巡礼することが出来ました。オーナーは「民芸」に傾倒してカフェを始めたとのこと。なるほど確かにインテリアや雑貨はとてもミニマルでシンプル、素朴なデザインのものばかり。憧れや好きな気持ちをカタチにするって大変そうだけど、いいな。やはり本家は別格の味わいで、大変刺激になりました。

歴史的建築物探訪では、純和風建築がある意味奇妙ともいえる重文の奈良基督教会の日曜礼拝に参加。信者の宮大工が建てたという見事な格天井を眺めつつ、牧師様の説教を聴き、祝福に預かりました。近畿に行くと、どうしても京都大阪神戸中心になってしまい、スルーしがちな奈良ですが、今後は私にとって無視出来ない地域になりました。



日本聖公会奈良基督教会 礼拝堂

**「Doはぐ」体験!!
建築士と避難所運営模擬体験
金子ゆかり (釧路支部)**

今年4月、HUG（避難所運営ゲーム）の北海道版が完成し、いよいよ貸出しがスタートしました。

これを受けて釧路支部では、去る5月30日、釧路東高等学校へ向き「Doはぐ」研修会を行って参りました。東高校は多方面にわたり被災地を支援する活動を継続している高校です。様々な体験を重ねているうち「自分の学校も避難所だ。もしもの時はどうなるのだろう」と疑問を持ち、高校生の声から釧路支部と一緒にHUGをする事になったのです。

研修当日は支部長と女性委員会メンバーが講師として学校を訪問。生徒会執行部や教員と共に避難所としての学校の利用の仕方について検討を行いました。



先生も生徒も一緒に体験！釧路東高校

しかし、回を重ねる毎に「これで良いの？」と思うのがHUG。被災地応急支援委員会と女性委員会が7月16日に札幌で開催した研修会にも参加してみる事にしました。普段は運営サイドにいる為、ゲームへの参加は久々。北海道版ならではの低体温症や車避難での積雪による事故防止の注意喚起、寒さへの対応について、改めて考えさせられました。冬の災害は備えがなければ命取り！建物の事を知らないとは解決できない問題も避難所には沢山あります。HUGは建築士の力を活用した地域貢献が可能です。それぞれの地域で更に頼られる存在になるべく、皆さんも是非と一緒に「Doはぐ」を！